

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育実習 I B	実習	2 単位	林 幹士

**【ディプロマポリシーとの関連】**

＜認知的領域(知識・理解)＞

3. 保育者・教育者として、幅広い教養を身につけている。

＜技能・活動的領域(技能・表現)＞

5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する(音楽・造形・体育など)の実践力を身につけている。

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

**【授業のテーマ及び到達目標】**

授業のテーマ

保育実習 I B では、保育士の職務についての理解と利用者に対する理解をさらに深める。これまで学んできた理論・技能を実践の場で確認し、生かしながら、実践的能力を高める。そして、一人ひとりの利用者の特性に応じた援助のあり方、家庭との連携のあり方や支援の内容と方法について理解を深める。

到達目標

- ・利用者の個人差、利用者のニーズについて説明できる。
- ・指導案の立案とそれに基づく実践を実行できる。
- ・職員間の連携を理解し説明できる。
- ・家族とのコミュニケーションの方法について理解し、説明できる。
- ・地域社会との連携を理解し説明できる。
- ・利用者の最善の利益について理解し、利用者の最善の利益となるような支援を実行できる。
- ・保育士としての職業倫理について、説明できる。
- ・今後の課題と方向性を、判断できる。

**【授業の概要】**

1 週目 : 参加実習、部分実習

2 週目 : 部分実習、半日実習、全日実習

**【全体の授業計画・内容】**

**【学習のあり方】**

**【成績評価】**

実習施設による成績(70%)、提出物(実習記録)(30%)を総合的に評価する。

**【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】**

提出物や保育実習 I B の成績評価をもとに個別面談を実施し、つぎの実習での課題を明確化する。

**【テキスト】**

岡本 幹彦他『福祉施設実習ハンドブック』みらい

久富 陽子他『幼稚園・保育所実習 指導計画の考え方・立て方』萌文書林

**【参考文献】**

適宜紹介する。

**【実務経験の有無】**

学童保育所における保育者としての経験をいかし、施設における保育者としての実践的な学びについて指導する。